

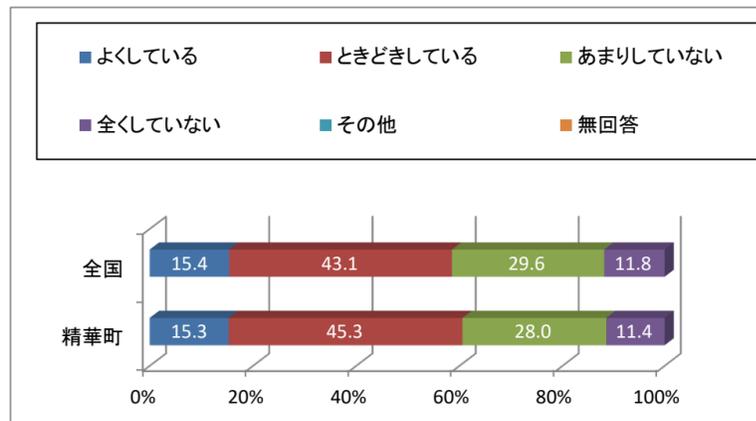
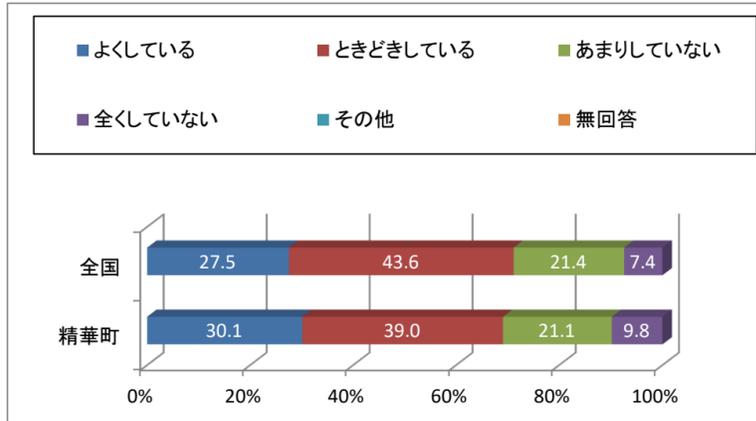
学習状況について

1

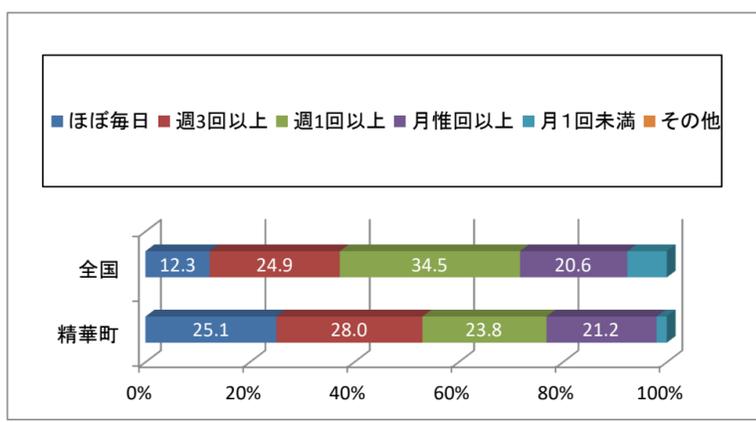
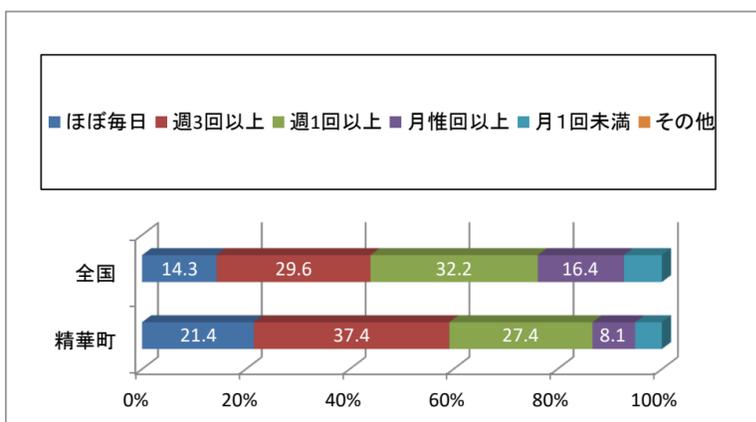
小学6年生

中学3年生

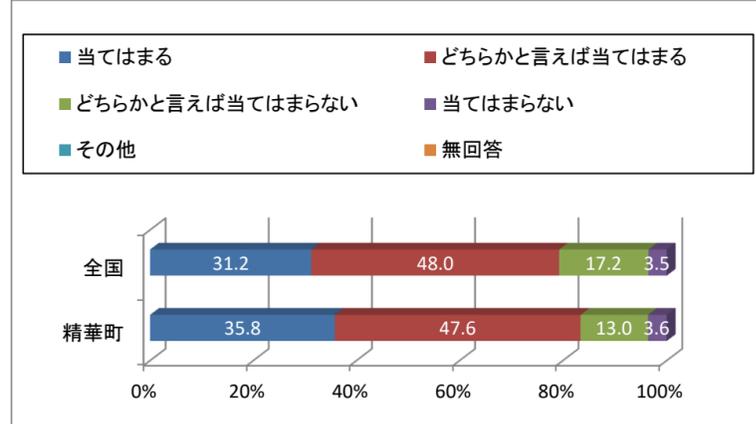
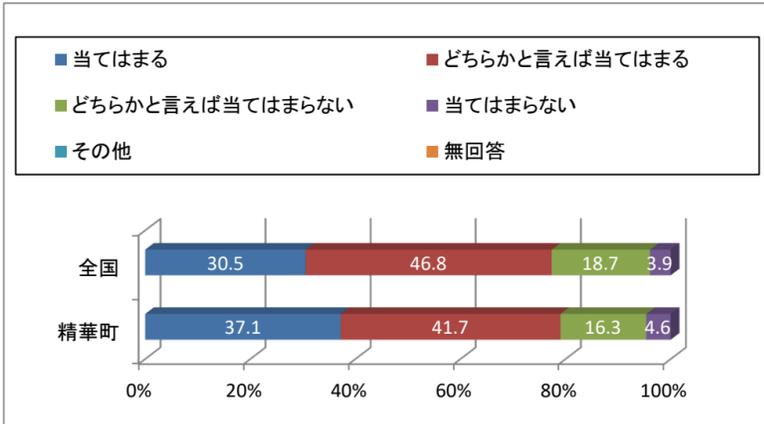
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）



授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）」の質問では、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒は、全国と比較して、高い結果となっており、週3回以上と答えた数と合わせると、15ポイントほど全国を上回る結果となっています。授業内で、タブレットを使う時間が増え、使用が日常化してきたと言えます。今後は、更に先に進んで、タブレットの効果的な活用について、小中学校において取組を進めていく必要があります。「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問では、小学校、中学校とも、全国・府の平均を上回り、主体的な学習活動が充実していることがうかがえます。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学3年生は、全国平均をわずかに上回りましたが、小学校は全国よりもやや低い結果となりました。

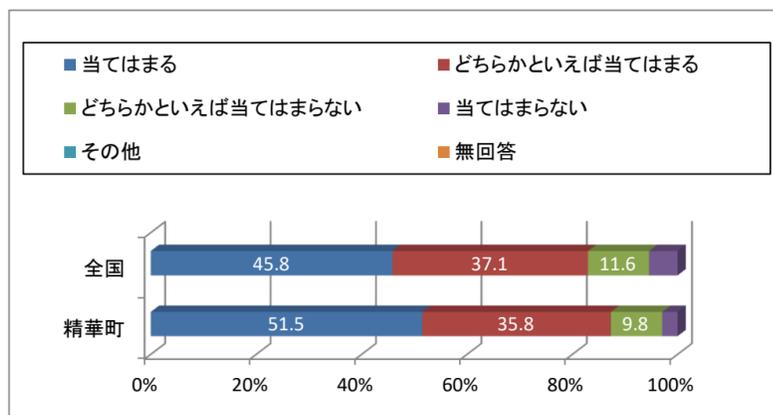
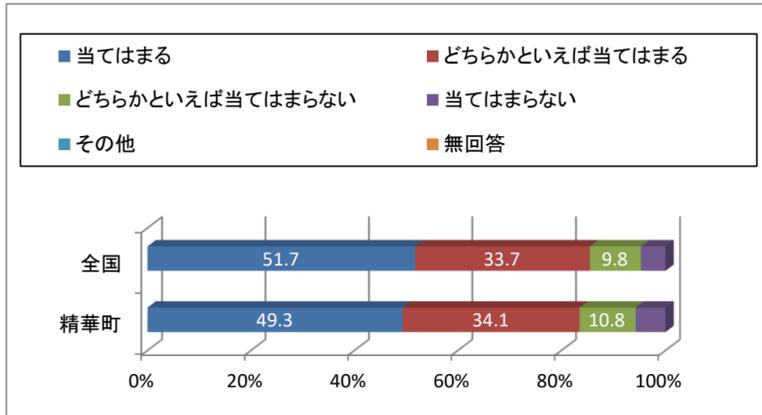
学校生活について

小学6年生

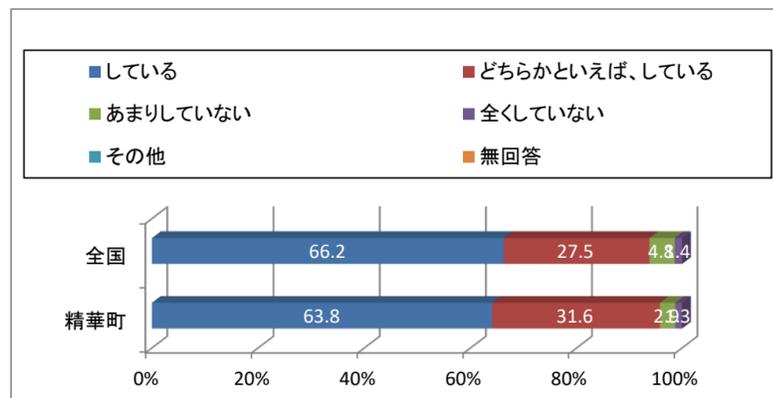
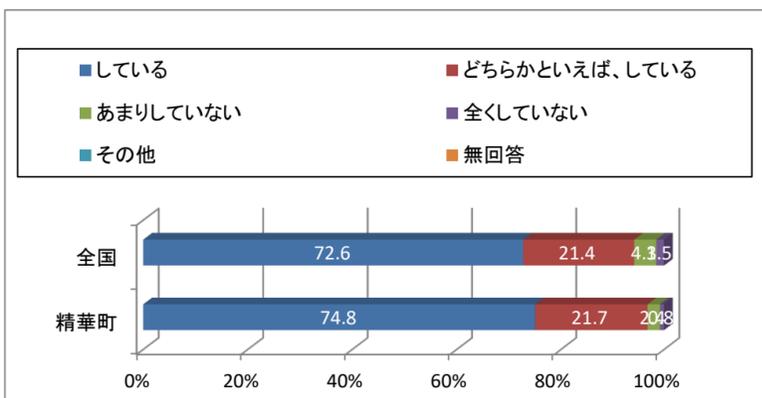
中学3年生

2

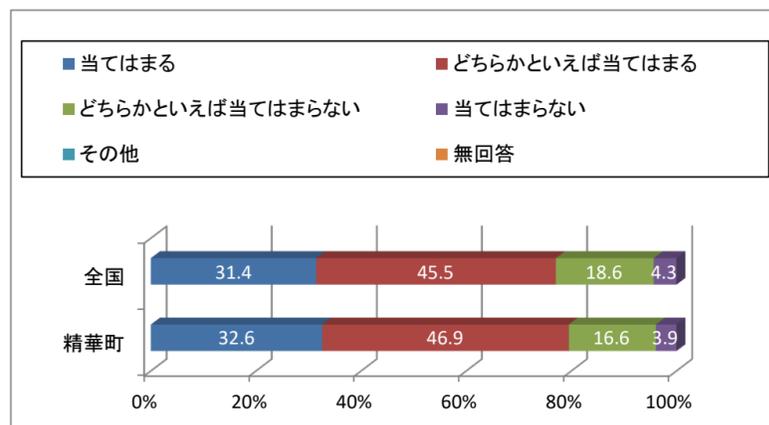
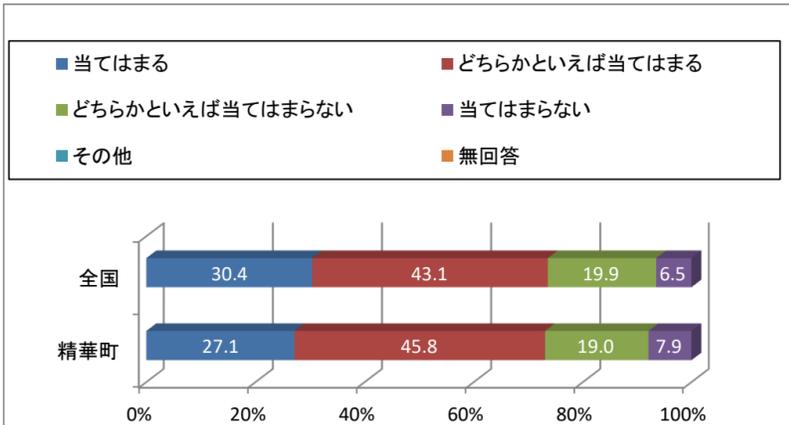
学校に行くのは楽しいと思いますか



友達と協力するのは楽しいと思いますか



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



「学校へ行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、小学校6年生、中学校3年生ともに約8割が肯定的な回答をしています。また、「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問ではを合わせて、9割以上の児童生徒が、「当てはまる・どちらか」として「当てはまる」と回答しています。さらに、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問でも7割以上の児童生徒が肯定的な回答をしており、自分の考えを発表したり、お互いに考えを聞き合う活動が授業の中で展開されており、長引くコロナ禍の中であっても、多くの子どもたちが友達と協力することの楽しさを感じていることが分かりました。

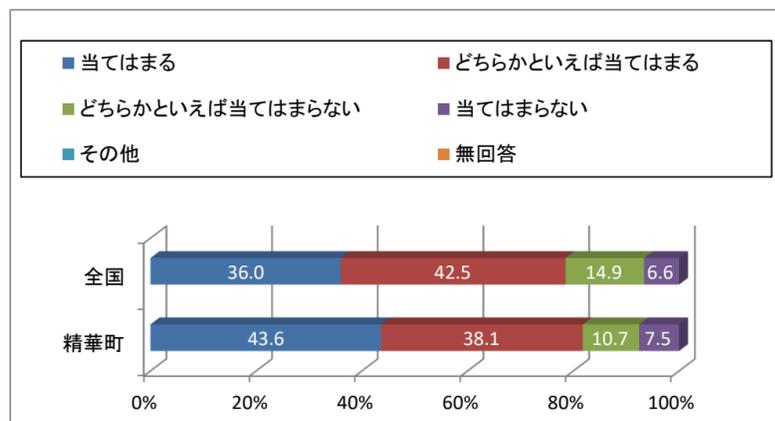
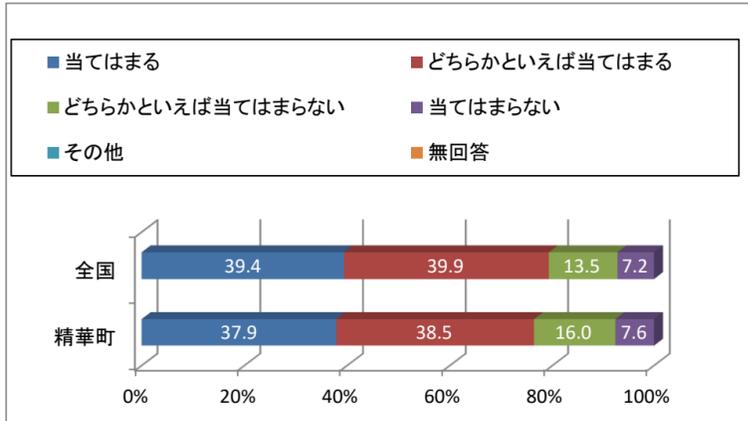
自分自身に関することについて

3

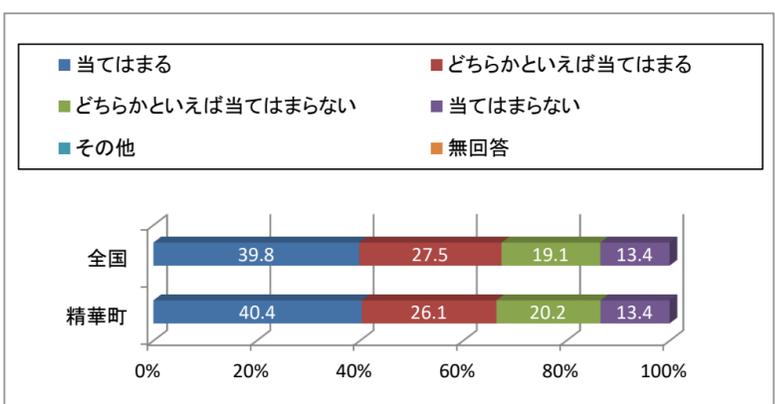
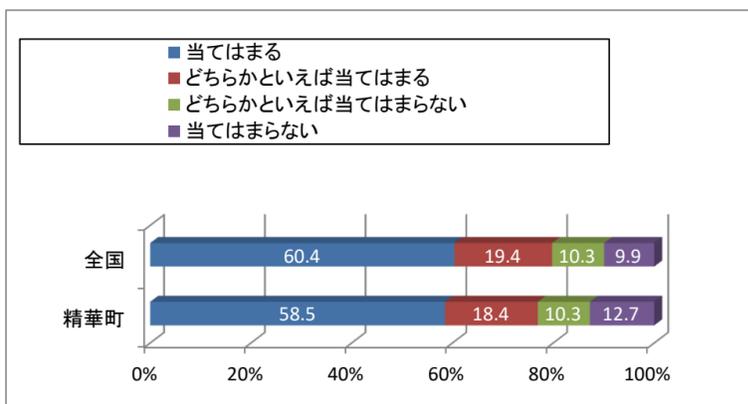
小学6年生

中学3年生

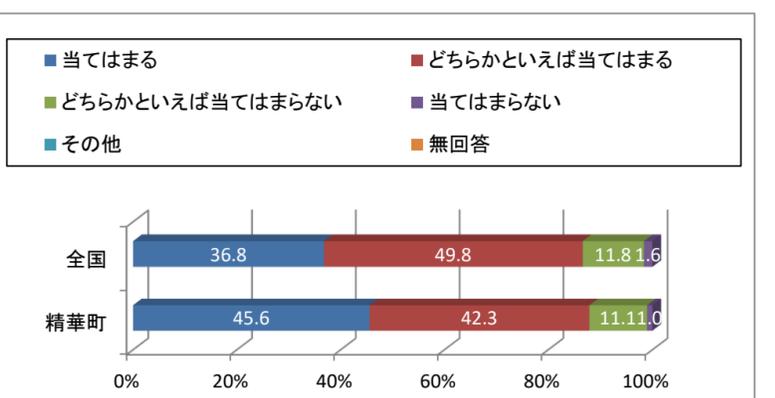
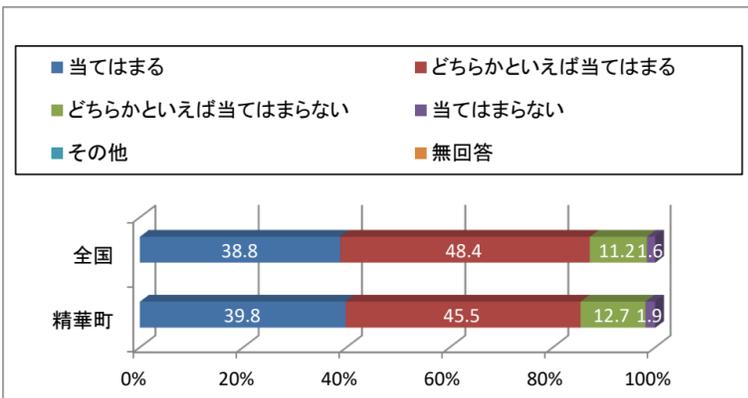
自分には良いところがあると思いますか



将来の夢や目標を持っていますか

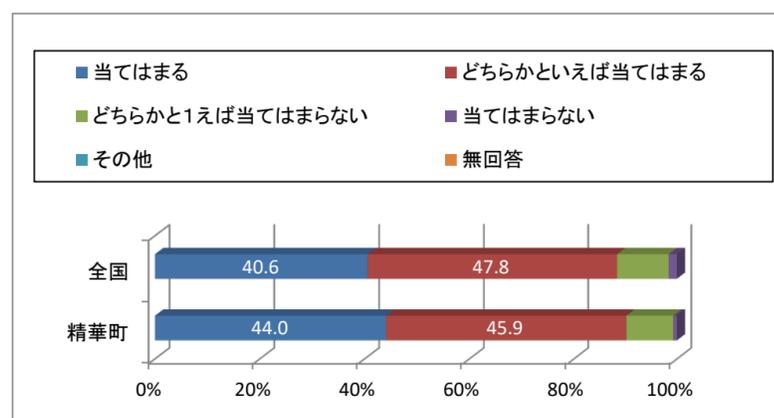
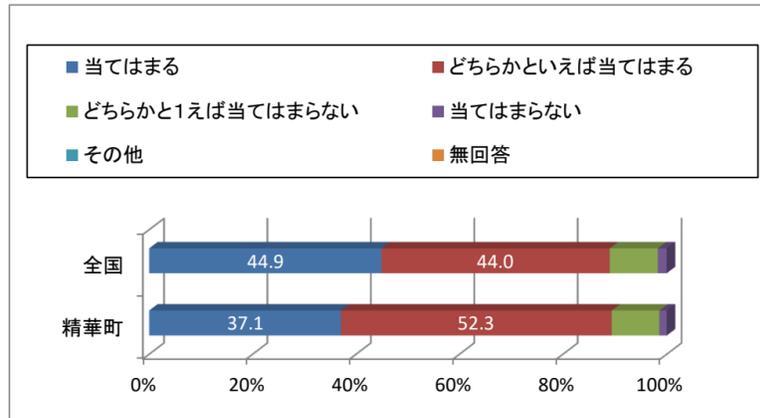


自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

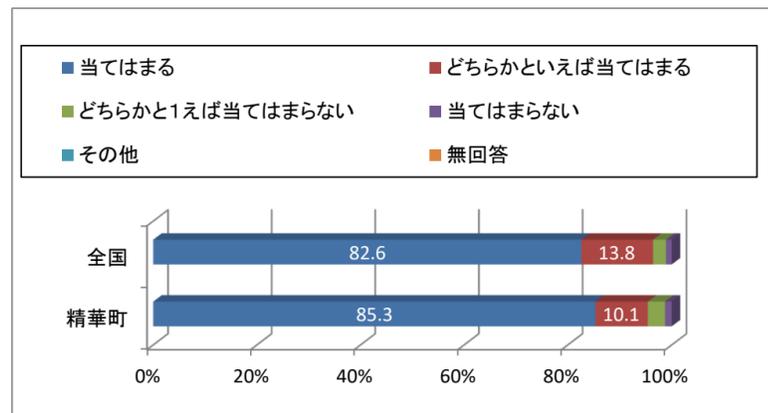
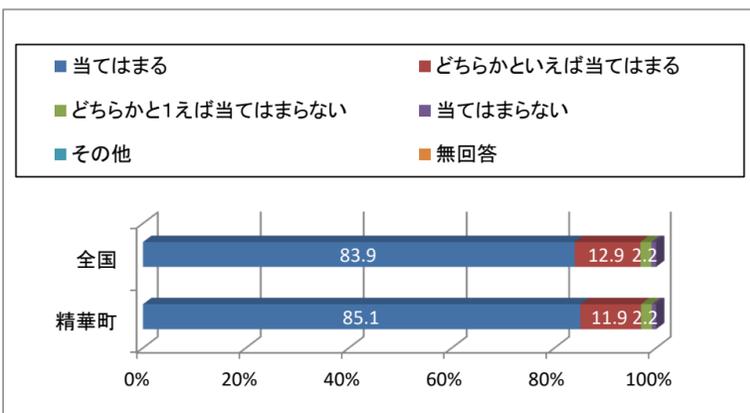


「自分には良いところがあると思いますか」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校6年生及び、全国平均より若干低く、中学生では、全国をやや上回りました。「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では、小学校6年生では約8割の児童が肯定的な回答をし、中学校3年生では約7割の生徒が肯定的な回答をしています。「自分で決めたことは、やり遂げるようにしていますか」については、小学校6年生で5.3%の児童が、中学校3年生で87.9%の生徒が肯定的な回答をし、強い意志をもってやり遂げようとする子どもたちの姿がうかがえます。

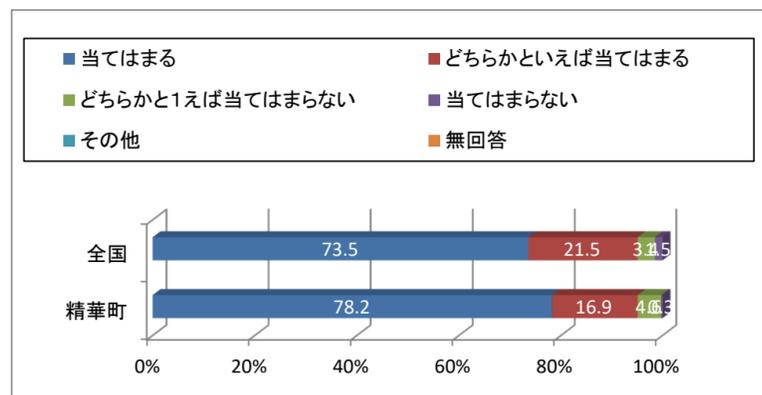
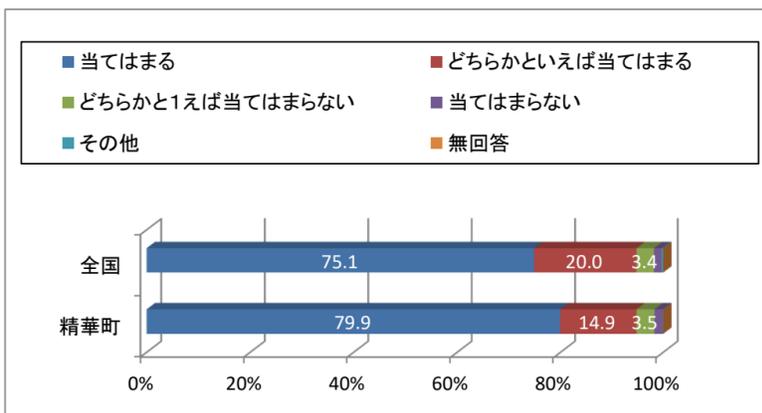
人が困っているときは、進んで助けていますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



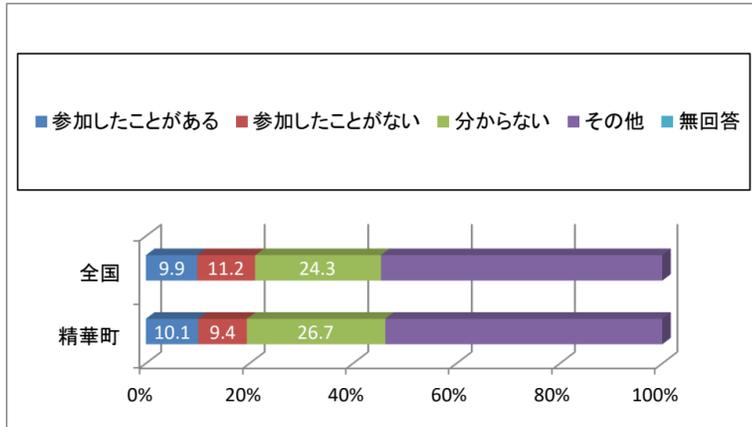
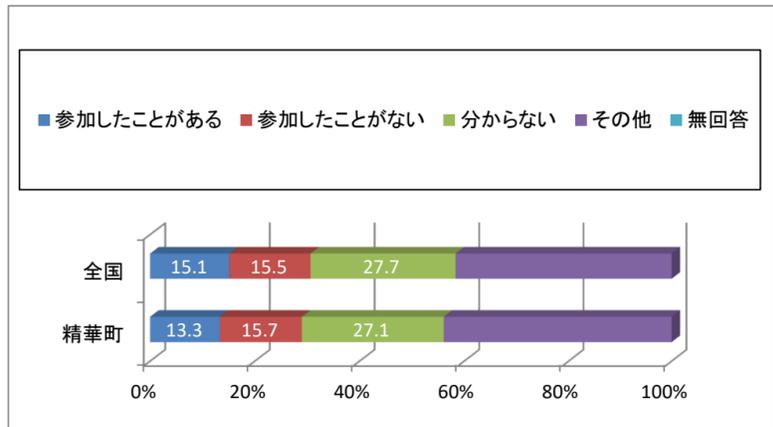
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



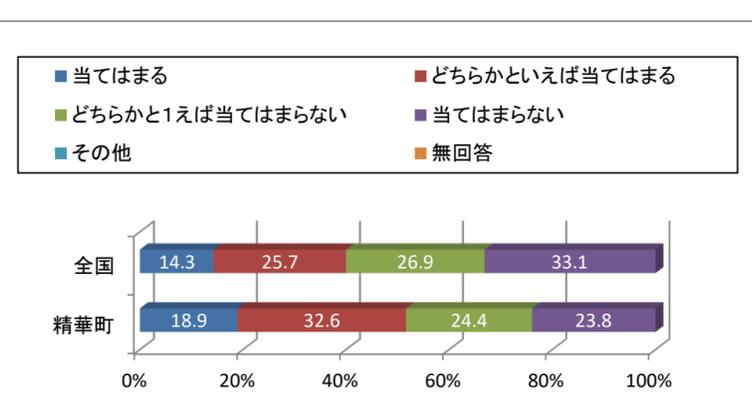
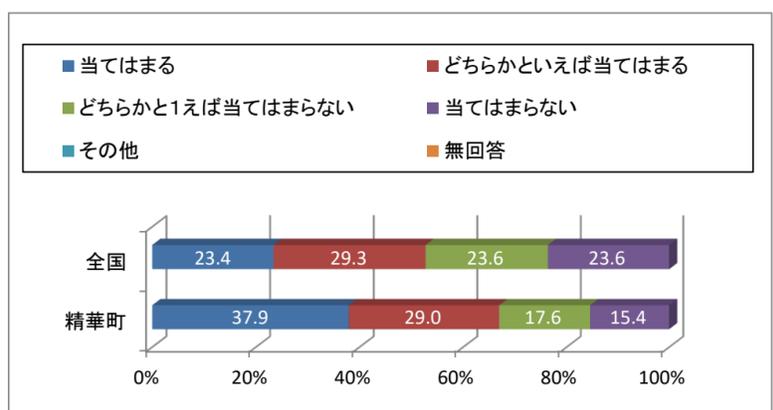
「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問では、小学校6年生、中学校3年生の回答の約9割が肯定的な回答でした。また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問においても、9割以上の児童生徒が肯定的な回答をしています。

「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。しかし、ごく少数ではありますが、肯定的な回答をしなかった児童生徒がいることから、引き続き道徳教育や人権教育を充実させていく必要があります。

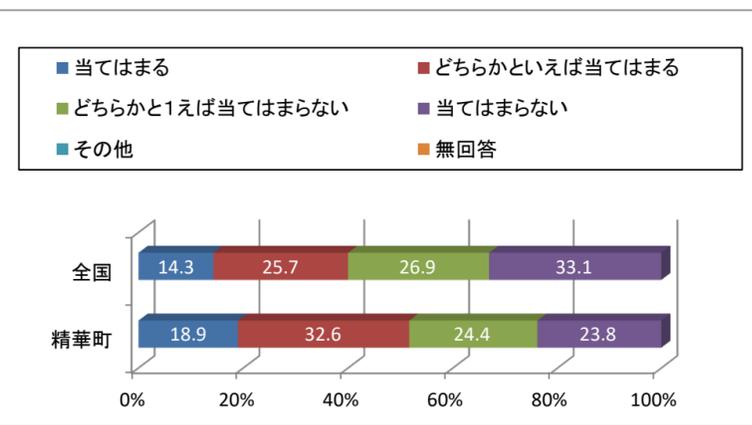
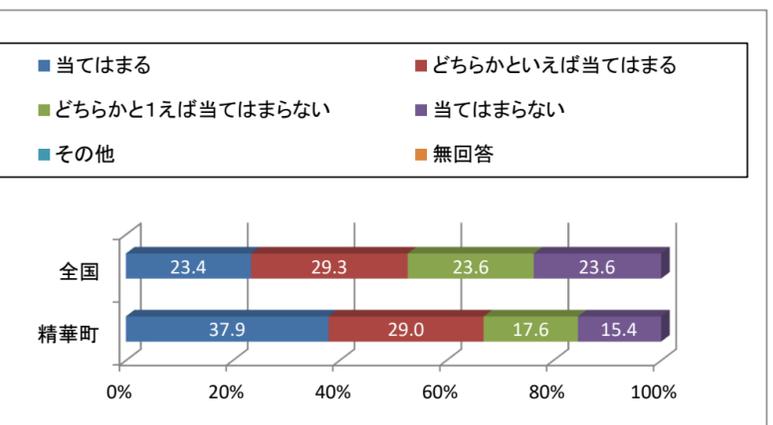
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）



今住んでいる地域の行事に参加していますか

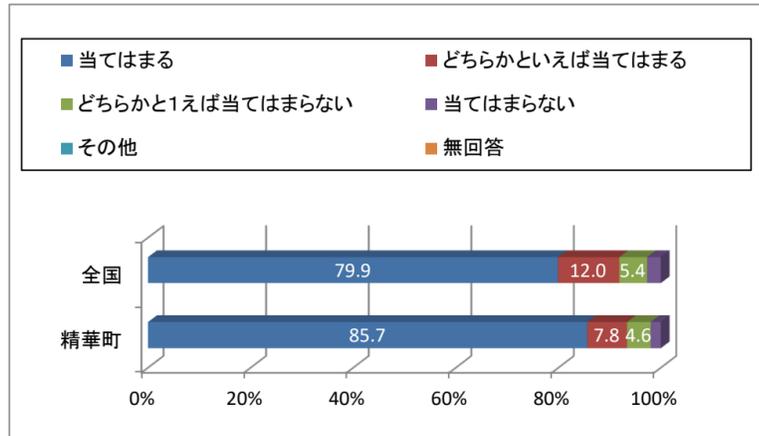
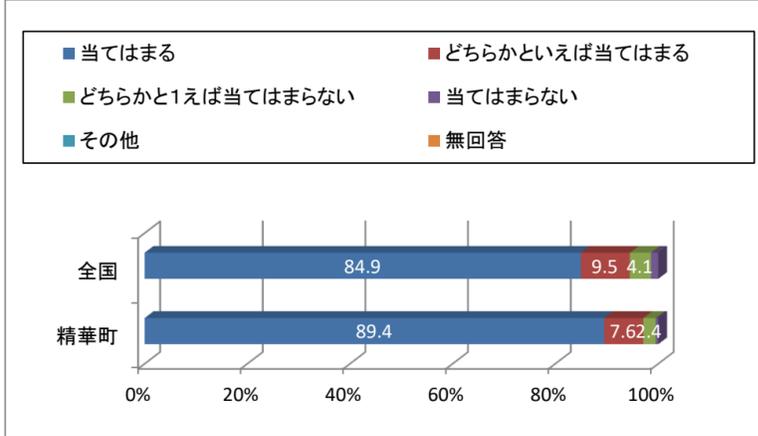


地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

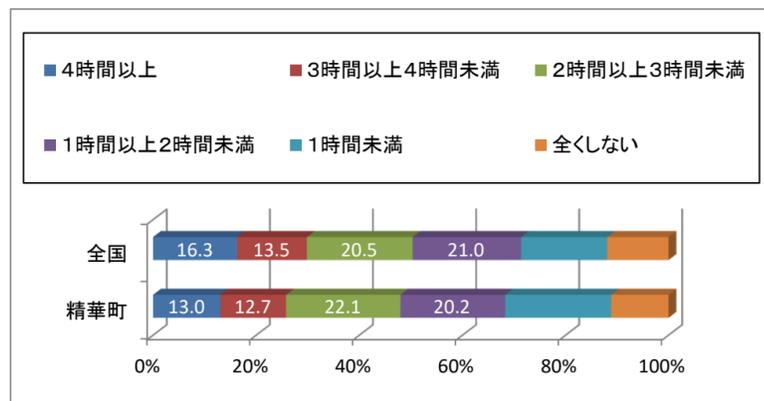
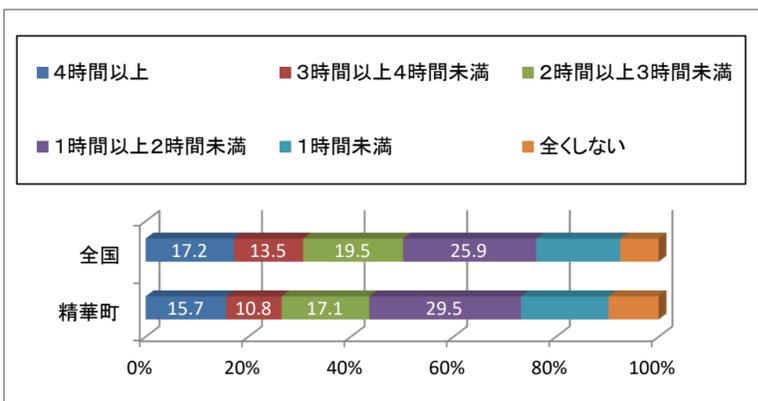


「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の質問で「はどちらかといえば参加してい」るも含めて小学校6年生の66.9%の児童が、中学3年生で51.6%の生徒が地域の行事に参加しています。毎年この質問についての精華町の児童生徒の回答は、全国平均を大きく上回っています。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。」の質問でも、小学校、中学校とも全国平均を大きく上回り、将来の精華町を担う子どもたちが、地域に関心を持ち、地域のことを考えていることがわかりました。「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）」では、全国的に肯定的な回答が低い状況です。今後、学校での様々な取組等を通して、この割合が伸びてくることを期待したいと考えています。

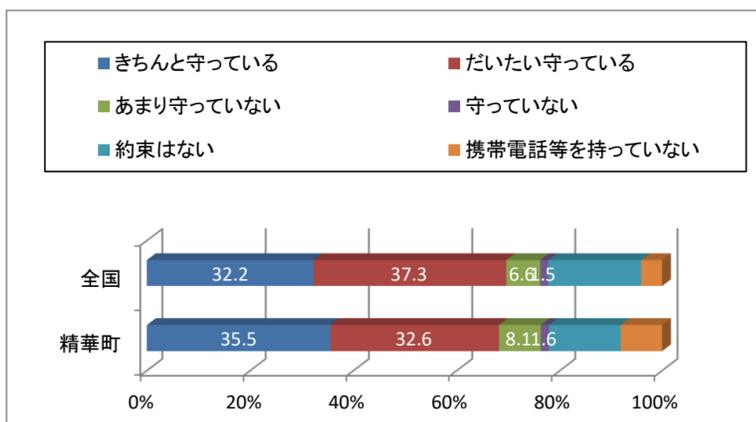
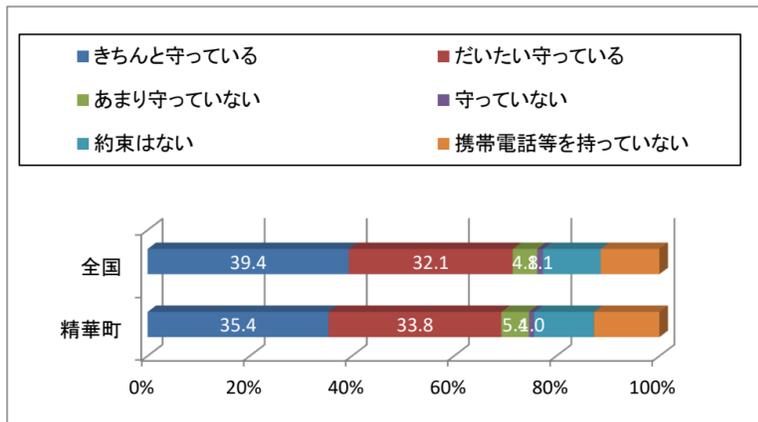
朝食を毎日食べていますか



普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



朝食については、小学生及び中学生ともに90%以上の子どもたちが、ほぼ毎日食べていることがわかりました。この項目は、毎回の調査で高い割合となっています。「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」の質問では、ゲームをする時間は小中学校ともやや全国を下回っていますが、中学3年生においては、3時間以上ゲームをしている割合が全体の25.7%を示しています。使用のためのルールを決めることは、大切であると考えられます。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか」の質問では、携帯電話・スマートフォンの所持率から考えると、多くの児童生徒が「きちんと守っている・だいたい守っている」と答えています。これは、全国、京都府と比べても、割合が高くなっています。